

ソーラーサーキット

除湿ユニット

SV-MBZ18RA-KN

取扱説明書

お使いになる前に

安全のために必ずお守りください…	2
各部のなまえ	4
運転前の準備	6

運転のしかた

除湿運転	8
加温運転	9
夜間モード運転	10

困ったときに

故障かな?と思ったら	11
問い合わせと修理を依頼される前に	12
設置・点検・移設	13
長期間ご使用にならないとき	14
アフターサービス	15
誤動作を防ぐために	15
仕様	16



このたびは除湿ユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- お客さまご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

この製品は国内用ですので日本国外では使用できません。



また、アフターサービスもできません。






This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。







■「図記号」の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。



 禁止	 指示を守る
 ぬれ手禁止	 アース線接続
 水ぬれ禁止	

据付時は

警告




<p>据付けは、工事店または専門業者に依頼する</p> <p>据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。</p>  <p>工事店に相談</p>	<p>電源は必ず除湿ユニット専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する</p> <p>専用以外の回路を使用すると、発熱・火災の原因になります。</p>  <p>専用回路</p>
<p>可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない</p> <p>万一ガスが漏れて室外ユニットの周囲にたまると、爆発の原因になります。</p>  <p>設置禁止</p>	<p>アース(接地)を確実に行う</p> <p>アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。</p>  <p>アース工事</p>
<p>漏電しゃ断器を取付ける</p> <p>漏電しゃ断器が取付けられていないと、火災・感電の原因になります。</p>  <p>漏電しゃ断器取付け</p>	<p>指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入替え)しない</p> <p>機器の故障や破裂、ケガなどの原因になります。</p>  <p>禁止</p>

注意

<p>ドレン水を確実に排水できるようにする</p> <p>排水経路に不備があると、室内外ユニットから水が滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。</p>   <p>排水</p>





移設・修理時は

警告

<p>お客さま自身で分解・改造・修理・移動再設置をしない</p> <p>不備があると、火災・感電・室内ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。</p>  <p>禁止</p>	<p>移動再設置・修理する場合は、工事店に相談する</p> <p>不備があると、感電や火災などの原因になります。</p>  <p>工事店に相談</p>
<p>除湿ユニットが加温しても暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、工事店に相談する</p> <p>冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容を工事店に確認する</p> <p>除湿ユニットに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。</p>  <p>工事店に確認する</p>	

ご使用時は

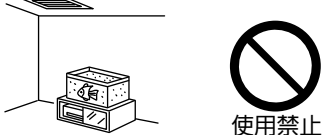
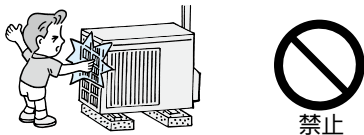







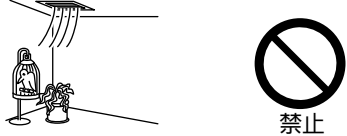

警告

<p>吹出口や吸込口に指や棒などを入れない</p> <p>内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。</p>  <p>禁止</p>
<p>コード類は、束ねたり、引っ張ったり、重い物を載せたり、ネジなどで傷つけたり、加熱したり、加工したりしない</p> <p>感電や発熱・火災の原因になります。</p>  <p>傷つけ禁止</p>
<p>異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止してブレーカーを切る</p> <p>異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。工事店に相談してください。</p>  <p>ブレーカーを切る</p>
<p>室内ユニット内部の洗浄はお客さま自身では行わず、必ず工事店に相談する</p> <p>誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気品やモータにかかる場合と故障や発煙・発火の原因になることがあります。</p>  <p>工事店に相談</p>

安全のために必ずお守りください

ご使用時は

⚠ 注意

<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない</p> <p>品質低下または動植物への害の原因になることがあります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>室外機の吸込口やアルミフィンにさわらない</p> <p>ケガの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>乾電池の交換は2本とも新しい同種のものにする</p> <p>古い乾電池を混ぜて使用すると発熱・液漏れ・破裂の原因になることがあります。</p>  <p>同種のものに</p>
<p>ぬれた手でスイッチを操作しない</p> <p>感電の原因になることがあります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない</p> <p>落下・転倒によりケガの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>乾電池を充電・分解したり火の中に投入しない</p> <p>液漏れ・破裂・発火の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない</p> <p>ユニットの落下につながりケガなどの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない</p> <p>火災・変形の原因になることがあります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>除湿ユニットを数シーズン使用した場合は、点検整備を行う</p> <p>室内ユニットの内部にゴミやほこりがたまって、ニオイが発生したり、除湿水の排水経路を詰まらせ、室内ユニットからの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。工事店に依頼してください。</p>  <p>点検整備</p>
<p>ペットや観葉植物に直接風をあてない</p> <p>動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、ブレーカーを切る</p> <p>被雷すると、故障の原因になることがあります。</p>  <p>ブレーカーを切る</p>	

安全のために必ずお守りください

同じ部屋に三菱電機製ルームエアコンを設置する場合は

⚠ 注意

除湿ユニットのリモコン受信装置の近くに三菱電機製ルームエアコンを設置したり、リモコン受信装置の近くで三菱電機製ルームエアコンのリモコンを操作しない

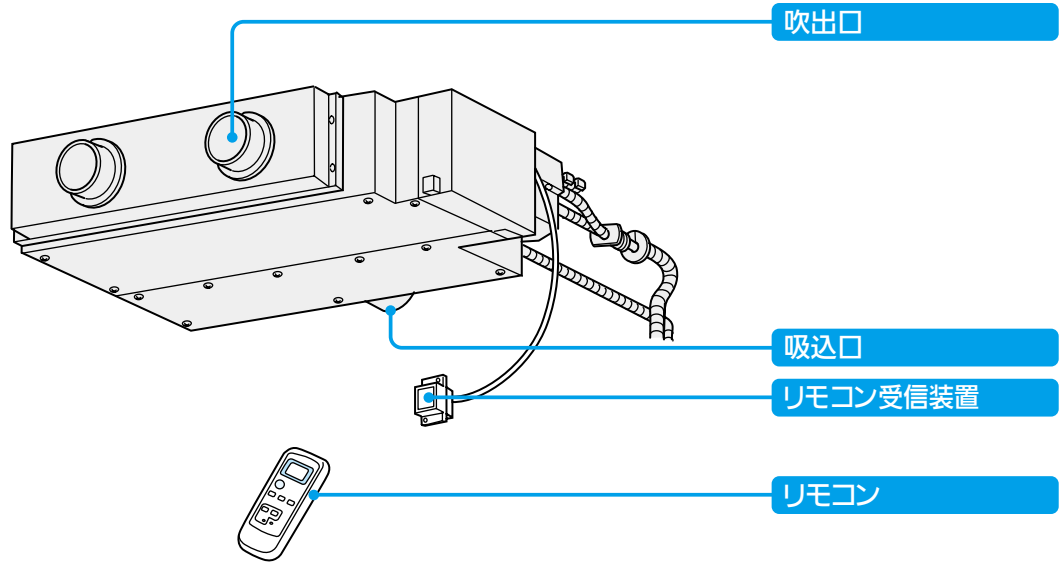
誤動作を起こす可能性があります。詳しくは15ページの「誤動作を防ぐために」をご覧ください。



各部のなまえ

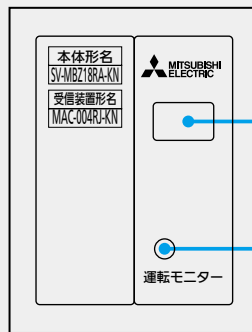
室内ユニット

室内ユニットは天井の中に据付けられます。



リモコン受信装置の表示部

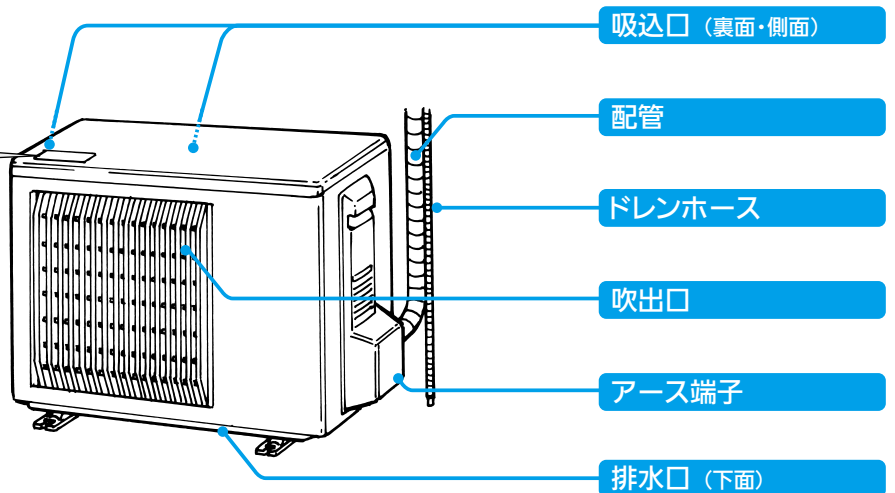
リモコン受信装置は天井などに取付けられています。



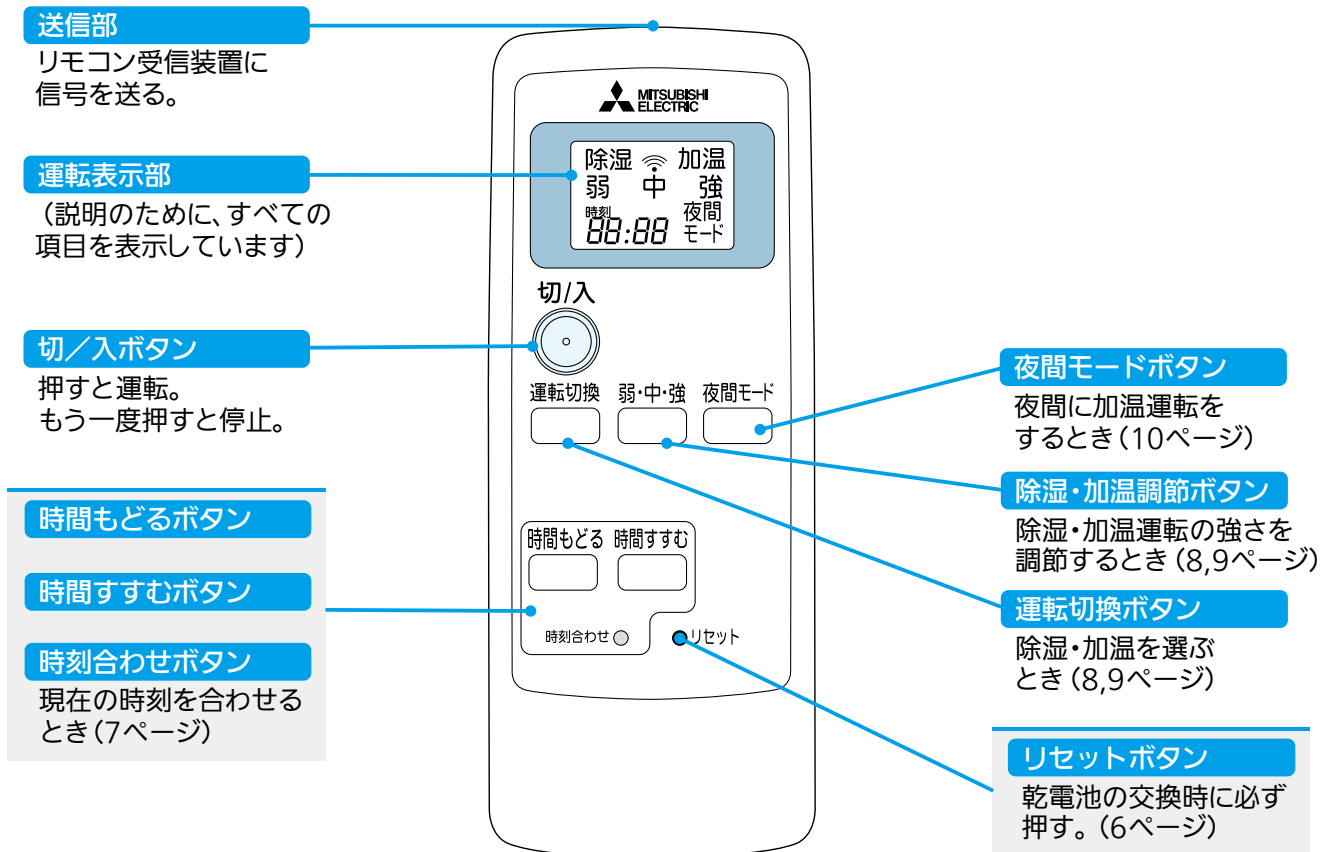
受信部
リモコンからの信号を受信します。

運転モニターランプ
運転中や夜間モード設定中に点灯します。

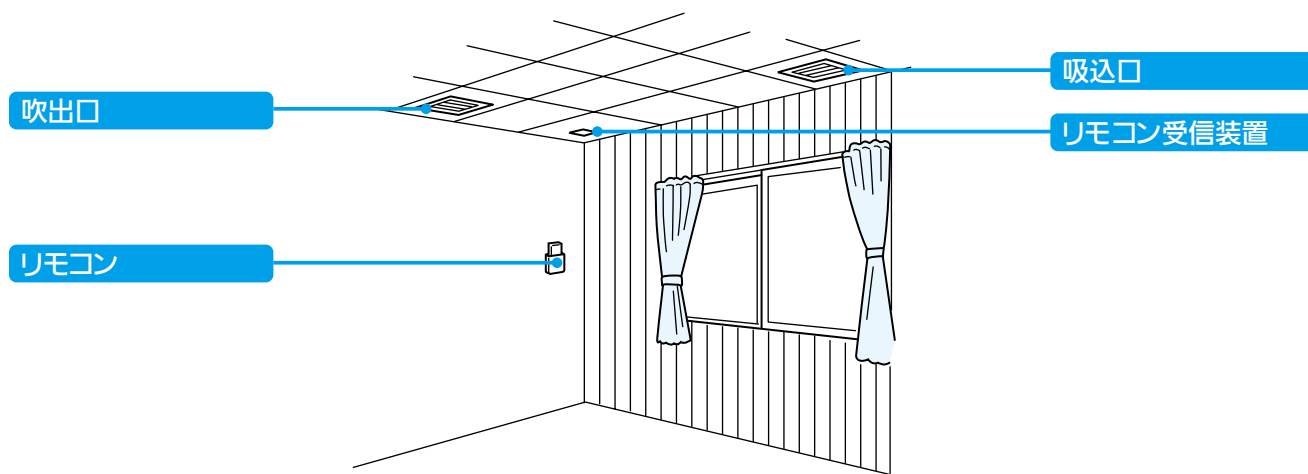
室外ユニット



リモコン



設置例 ここにあげた設置例は一例です。
実際には例と異なる場合もあります。



運転前の準備

除湿ユニットの据付けは工事店におまかせください。

SC-SVシステム

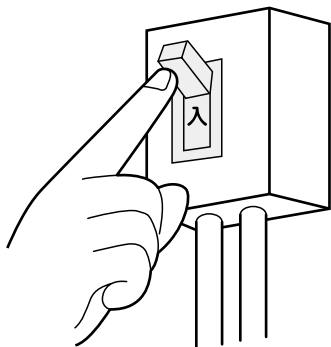
熱交換・外気導入併用型セントラル換気「SC-SVシステム」の壁スイッチの24時間換気スイッチをONにし、運転する。

お知らせ

■SC-SVシステムが運転していないと除湿ユニットは運転することができません。

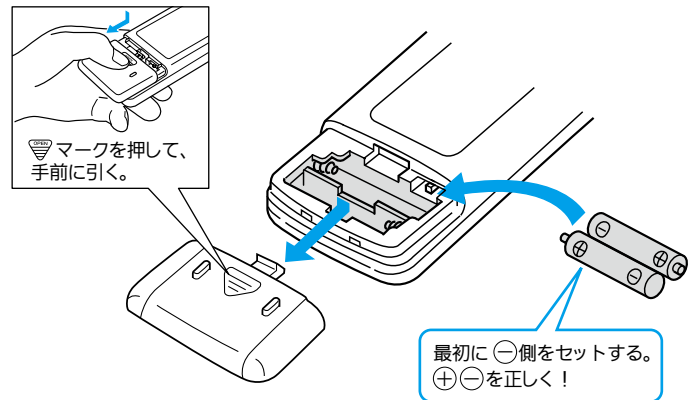
除湿ユニット

ブレーカーを「入」にする。

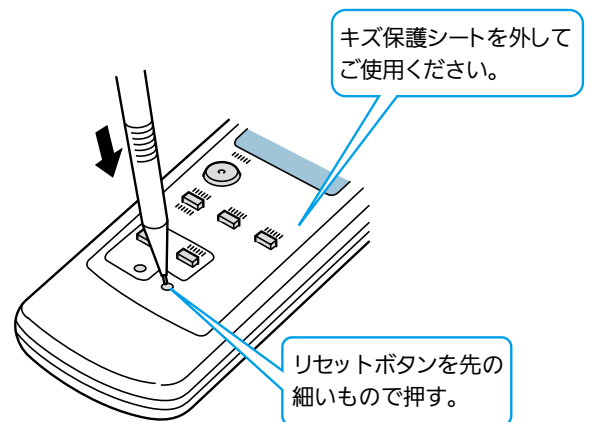


リモコン

①裏ボタンを引き抜き、乾電池を入れて裏ボタンを取付ける。



②リセットボタンを押す。

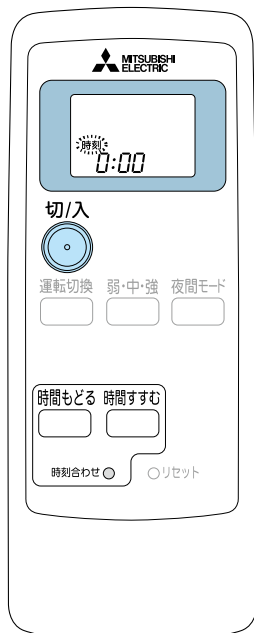


お知らせ

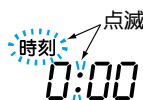
- リセットボタンを押さないと、正しく作動しないことがあります。
- リセットボタンを強く押し過ぎないように注意してください。

リモコン(現在の時刻の合わせかた)

現在の時刻を合わせないと夜間モード運転ができません。



1 開始 時刻合わせ ○ を押す。



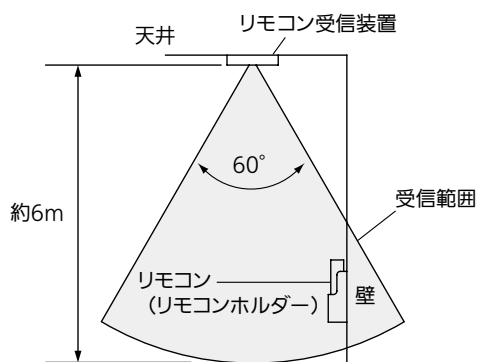
2 設定 時間もどる 時間すすむ を押して、現在の時刻を合わせる。

3 完了 時刻合わせ ○ を押す。

解除 時刻合わせ ○ を押す。

リモコンの取扱い

- 信号の届く範囲はリモコン受信装置の表示部の正面から直線距離で約6m以内です。リモコンホルダーはリモコン受信装置が信号を受信できる位置に取付けてください。



- リモコンの信号を受信すると"ピー"と鳴り、運転モニターランプが点滅します。なお、室内ユニットの設置場所によっては受信音が聞こえにくい場合があります。
- ボタンを連続的に押すと、押し終わったあとにリモコンは信号を送信し、受信音が鳴り、運転モニターランプが点滅します。
- リモコンを大切に扱ってください。落したり、投げたり、水などがかかると故障の原因になります。
- 表示部には液晶(材質:ガラス)を使用しており、落下による破損で表示が点灯しなくなる場合がありますので十分注意してください。
- 直射日光が当たる場所やストーブなどの近くには置かないでください。
- リモコン信号を受信しないときは12ページの「リモコン信号を受信しない」の内容をお確かめください。

乾電池について

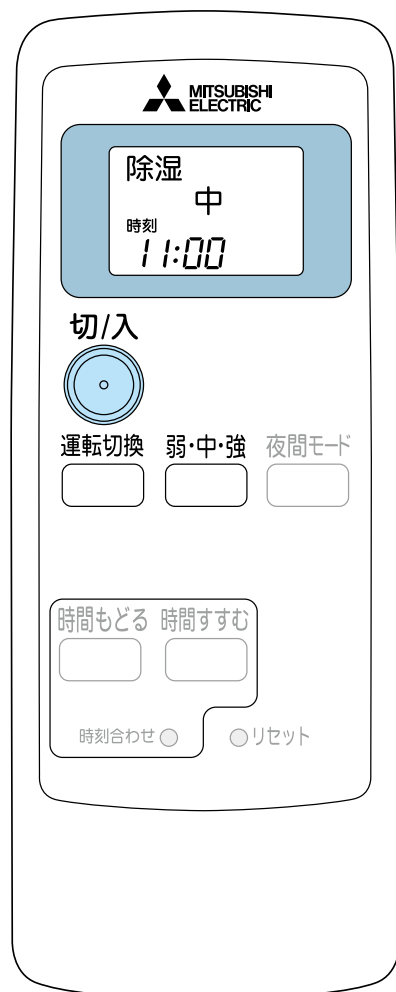
- 付属の単4形アルカリ乾電池は動作確認用です。1年未満で電池の寿命がなくなることがあります。
- 信号が届きにくくなったり、表示がうすくなったときは、2本とも新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。(アルカリ乾電池の寿命は約1年)
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池、マンガン乾電池を使用しないでください。誤動作することがあります。
- 液漏れによる故障をさけるため、長期間ご使用にならないときは乾電池を全部取出してください。

△ 注意 乾電池の取扱い

- 乾電池から液漏れし、皮膚や衣服に付着したときはきれいな水で洗い流してください。また眼に入ったときはすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。

除湿運転


屋外の空気を取り入れ、お部屋の温度が下がるのを抑えながら、湿気を取り除く運転をします。





除湿運転のしかた

SC-SVシステムが運転していることを確認してから除湿運転を開始してください。



1 開始  を押す。

2 設定  を押して、除湿を選ぶ。
1回押すごとに除湿→加温の順に運転内容が変わります。

3 調節  を押して、除湿の強さを選ぶ。
1回押すごとに中→強→弱の順に変わります。

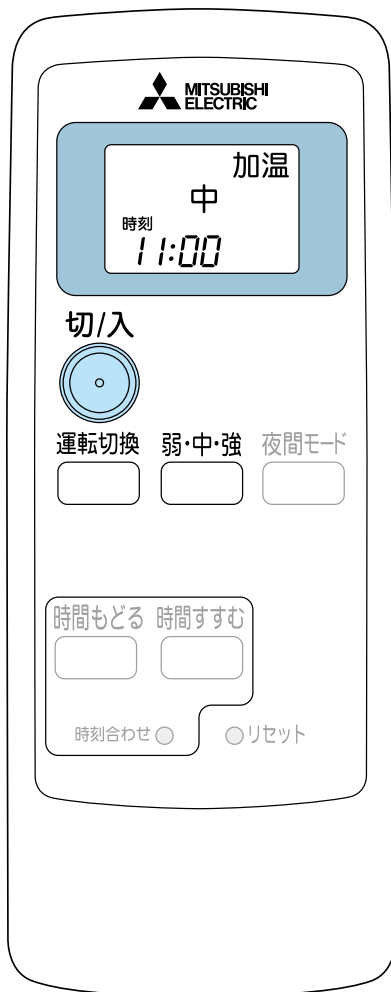
停止  を押す。

お知らせ

- SC-SVシステムを停止すると除湿ユニットも自動停止します。
- 除湿運転中、リモコン受信装置の運転モニターランプが点灯したままで運転を停止することがあります。
 - ・ 室内ユニットの吸込口空気は、SC-SVシステムの給気口空気です。室内の排気空気から、熱と湿気を回収した「外気」です。
 - ・ 除湿運転時、室内ユニットの吸込口空気の温度が、外気温度の低下などの影響で運転開始時より6℃低くなると、除湿ユニットは運転を停止します。このときリモコン受信装置の運転モニターランプは点灯したままです。
 - ・ この状態で  で運転を停止し（運転モニターランプが消灯する）、再度  で運転を開始すると、この時点から6℃低くなるまで除湿運転を行います。
 - ・ 室内ユニットの吸込口空気温度が、運転停止時の温度よりあがると、自動的に運転を再開します。

加温運転


お部屋を少し暖めたいときにお使いください。





加温運転のしかた

SC-SVシステムが運転していることを確認してから加温運転を開始してください。

1 開始  を押す。

2 設定  を押して、加温を選ぶ。
1回押すごとに除湿→加温の順に運転内容が変わります。

3 調節  を押して、加温の強さを選ぶ。
1回押すごとに中→強→弱の順に変わります。

停止  を押す。

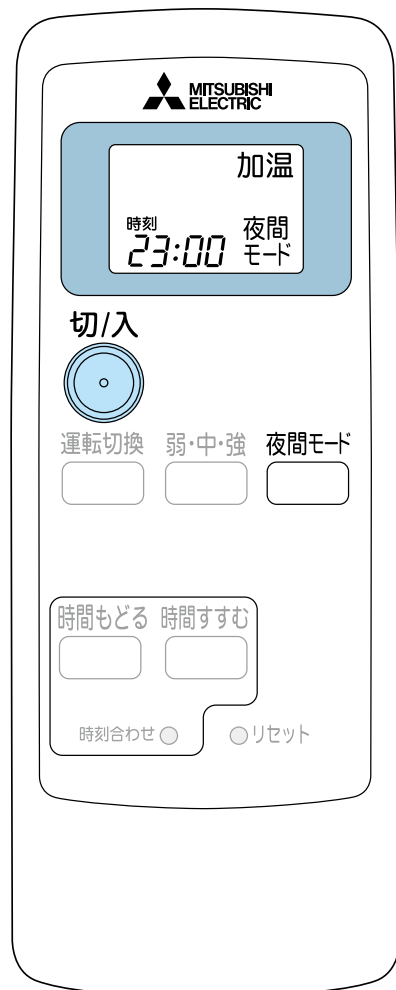
お知らせ

- SC-SVシステムを停止すると、除湿ユニットも自動停止します。
- SC-SVシステムは外気温度が-10℃以下になると給気送風機が停止モード（55分停止、5分弱運転の繰り返し）になります。このモードになると、除湿ユニットは自動的に停止します。

夜間モード運転

電気代の安い夜間に加温運転する運転モードです。

夜間モードに設定しておくこと、23:00に運転を開始させ、7:00になると自動的に運転を停止させることができます。



夜間モード運転のしかた

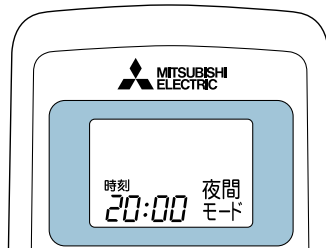
- ・SC-SVシステムが運転していることを確認してから夜間モード運転を開始してください。
- ・現在の時刻を合わせてから設定してください。(7ページ)
- ・リモコンは常にリモコン受信装置に信号が届く範囲内に設置してください。(7ページ)
- ・運転切換が加温運転になっているか確認してください。(9ページ)


開始  を押す。

夜間モードが開始されます。


・加温運転中の場合は、引き続き加温運転を継続し、7:00になると運転が停止します。

- ・停止中の場合は、23:00になると加温運転を開始します。
- ・停止中(7:00~23:00)のリモコン表示は下図のように“加温”は表示されません。



解除  を押す。

夜間モードが解除されます。

・加温運転中に夜間モードを解除しても加温運転は継続しますので、加温運転も停止したいときは、 も押してください。

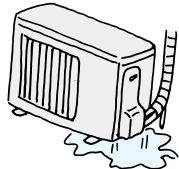
お知らせ

- 23:00または7:00になると、自動的にリモコンから信号を送りますので、リモコンは必ずリモコン受信装置に信号が届く範囲内に設置してください。
- 一度、夜間モードに設定すると、解除しない限り毎晩夜間モードで運転します。
- 夜間モードに設定しているときは、7:00~23:00の停止時間帯でもリモコン受信装置の運転モニターランプが点灯します。
- 除湿運転では夜間モードは使用できません。
- 夜間モード運転時に外気温度が -10°C 以下になると、SC-SVシステムの給気送風機が停止モード(55分停止、5分弱運転の繰り返し)になり、除湿ユニットも運転を停止します。外気温度が -10°C より高くなると自動的に運転を再開しますが、 -10°C 以下になって停止したときの状態に復帰するため、夜間モード運転の停止時間帯(昼間)に温度が復帰する(-10°C より高くなる)と昼間に除湿ユニットが加温運転することがあります。次の夜間モード運転時刻からは(外気温度が -10°C より高ければ)正常な夜間モード運転に復帰します。

故障かな？と思ったら



修理を依頼される前に、次の点をお調べください。こんなときは故障ではありません。
 なお、不具合があるときは、必ずブレーカーを「切」にしてから工事店にご連絡ください。

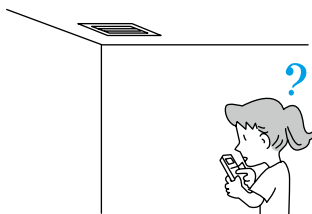
	故障かな？	▶	お答えします。
止まる	再度運転にしても、3分間ほど動かない	▶	■除湿ユニットの保護のため、止まっています。約3分後に運転しますので、そのままお待ちください。
	加温運転中、10分ほど加温運転が止まる	▶	■室外ユニットに付いた霜を溶かしています。(霜取運転) 長くて10分間で終了します。そのままお待ちください。(外気温度が低く、湿度が高いときに霜が付きます)
	外気温度が低くなると加温運転が止まる	▶	■外気温度が-10℃以下になると、SC-SVシステムの給気送風機が停止モード(5分停止、5分弱運転の繰り返し)になるため、除湿ユニットの加温運転も停止します。給気送風機が運転すると、除湿ユニットも自動的に運転を再開します。
	除湿運転中、除湿運転が止まる	▶	■除湿運転中、運転モニターランプが点灯したままで運転が停止する場合があります。詳しくは8ページの「お知らせ」をご覧ください。
風	加温運転にしたとき、すぐに温風が吹出さない	▶	■暖かい風を出す準備をしています。そのままお待ちください。
	加温しても風が生ぬるく暖房にならない	▶	■加温運転は暖房を補助する機能で、本格的な暖房には別の暖房機が必要です。
音	“ピシッ” という音がする	▶	■温度変化で吹出口、吸込口などが膨張・収縮してこすれる音です。
	水の流れるような音がする	▶	■除湿ユニット内部の冷媒が流れているときに出る音です。
	ときどき“ブシュ” という音がする	▶	■除湿ユニット内部の冷媒の流れが切り替わるときに出る音です。
その他	室外ユニットから水または水蒸気が出る 	▶	■加温時に、室外ユニットに付いた霜を溶かすときに、水や湯気が出るためです。 ■加温時に熱交換器に付いた水が滴下するためです。故障ではありませんが、濡れてお困りの場合は、工事店へ排水工事のご相談をお願いします。なお一部寒冷地では室外ユニット氷結のおそれがあり、工事ができない場合があります。
	夜間モードに設定してあるのに昼間運転する	▶	■夜間モード運転中に外気温度が-10℃以下になると運転が停止し、朝7時以降に-10℃より高くなると停止時の状態に復帰するため、昼間に運転しますが、外気温度が-10℃以上あれば次からは正常に復帰します。
	室外ユニットのファンの回転が遅い	▶	■特に除湿運転時は回転が遅いことがありますが、必要な放熱量が少ないためです。

故障かな？と思ったら

問い合わせと修理を依頼される前に

こんなとき

動かない。



リモコンの表示がでない、
表示がうすい。
リモコン信号を受信しない。



お確かめください。

- ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。
- SC-SVシステムが停止していませんか。
- 除湿運転中、室内ユニットの吸込口空気の温度が運転開始時より6℃低くなると停止します。詳しくは8ページの「お知らせ」をご覧ください。
- 外気温度が-10℃以下になりSC-SVシステムの給気送風機が停止モードになると、除湿ユニットは自動的に停止します。

- 乾電池が消耗していませんか。(7ページ)
- 乾電池の取付けが(+) (-) 逆になっていませんか。(6ページ)
- テレビやビデオのリモコンのボタンが押されたままになっていませんか。
市販のリモコン収納ボックスにテレビやビデオのリモコンを重ねて収納されるとボタンが押されたままになり、除湿ユニットのリモコン信号を受信しないことがあります。ボタンが押されたままにならないように収納してください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、「工事店」にご相談ください。

運転モニターランプが点滅するときや、以下のような場合には、運転を停止し、「工事店」にご相談ください。

- 室内ユニットから水が漏れるとき。
- リモコンで操作できない。
(インバーター蛍光灯を点灯したとき
液晶、プラズマテレビの電源を入れたとき)
- テレビやラジオにノイズが出る。
(電波の弱い地域では増幅器の取付けをおすすめします)
- ブレーカーがたびたび切れる。

お願い

- 雷が鳴り出したら、早めに運転を止め、除湿ユニット専用回路のブレーカーを「切」にしてください。電気部品が損傷することがあります。

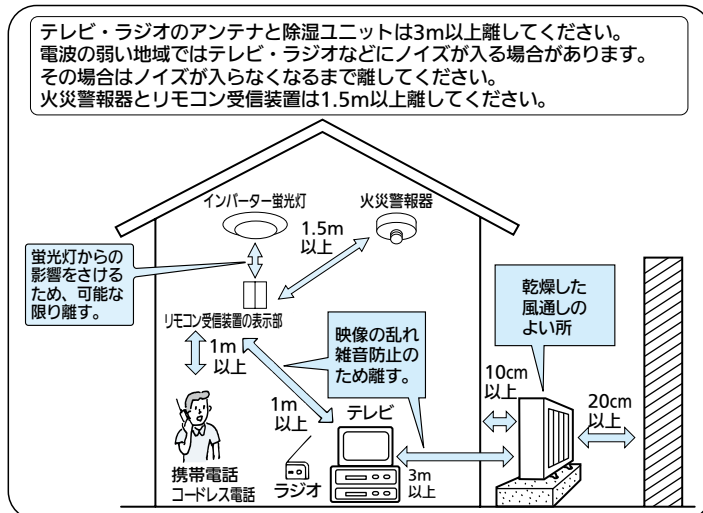
設置・点検・移設

「安全のために必ずお守りください」(2, 3ページ) をご確認ください。

据付場所について

以下の場所への据付けはさけてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある所
 - 高周波機器、無線機器などがある所
 - 機械油が多い所
 - 海浜地区など塩分が多い所
 - 温泉地などや硫化ガスが発生する所
 - 油の飛まつや油煙のたちこめる所
 - 積雪により室外ユニットがふさがれる所
 - クレーン車、船舶など移動するもの
- ※室内ユニットからの排水は、水はけのよい所にしてください。
※風通しが悪くショートサイクルが起きやすい所では、冷暖房能力および消費電力が10%程度悪化する場合があります。その場合、吹出ガイド(別売部品)をお使いになると、冷暖房能力および消費電力の改善が図れます。



電気工事についての注意

- 電源は必ず除湿ユニット専用回路にしてください。
- ブレーカー容量は必ず守ってください。AC100Vで使用してください。

運転音にも配慮を

- 据付けにあたっては除湿ユニットの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口近くには物を置かないでください。機能低下や運転音増大のもとになります。
- 使用中、異常音がする場合は、「工事店」にご相談ください。

寒冷地の氷結防止対策について

- 寒冷地では氷結防止のため、霜取り運転での排水がたまらずに円滑に流れるように配慮してください。氷結するとお部屋が暖まりにくくなったり、故障の原因になることがあります。

移設は専門業者へ依頼

- 増改築・引越しのため除湿ユニットを取外したり、再度据付ける場合は、専門の技術や工事が必要になります。

点検整備のおすすめ

- 除湿ユニットを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下することがあります。また、ゴミやほこりなどにより、ニオイが発生したり、ドレンホースなどの排水経路がつまり、室内ユニットから水漏れすることがあります。通常のSC-SVシステムのフィルターのお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備および費用は「工事店」にご相談ください。

警告

- 除湿ユニットを加温運転にしても暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、「工事店」にご相談ください。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容を「工事店」に確認してください。
- 除湿ユニットに使用される冷媒そのものは安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因となります。



工事店へ
確認する

なお、ご不明な点があるときには「工事店」にご相談ください。

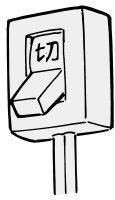
長期間ご使用にならないとき

●長期間使用しないとき

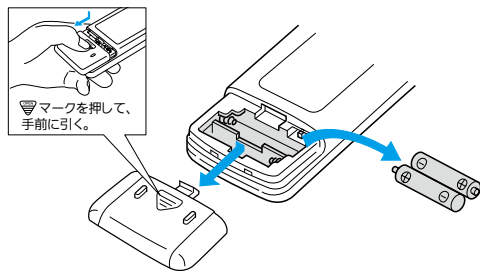
- 1 送風運転（3～4時間）を行い除湿ユニット内部を乾燥させる。

送風運転の方法はSC-SVシステムを運転したまま除湿ユニットのみ停止させます。

- 2 ブレーカーを「切」にする。



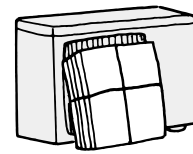
- 3 リモコンから乾電池を取り出す。



●再度使い始めるとき

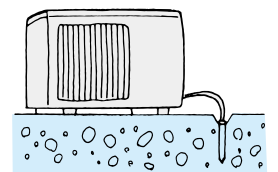
- 1 「運転前の準備」を行う。

- 2 室内外ユニットの吹出口・吸込口をふさいでいないことを確認する。



- 3 アース線が外れていないことを確認する。

室内ユニット側に取付けてある場合があります。



アフターサービス

除湿ユニットは、室内空間の空気環境性能を向上させるための必要な設備として建物に装備されています。その性能を維持し、より快適な生活をしていただくためには、メンテナンスが必要不可欠であり、定期的な点検訪問を行う「メンテナンス契約」(有償)をお薦めしております。メンテナンスは三菱電機システムサービス株式会社が行います。詳細については、工事店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

除湿ユニットの補修用性能部品の製造打ち切り後10年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

誤動作を防ぐために

近くに三菱電機製ルームエアコンがある場合、お互いのリモコンで誤動作することがあります。

除湿ユニットのリモコン受信装置と三菱電機製ルームエアコンが近くにある場合、お互いのリモコン信号で誤動作する可能性がありますので、初めて電源を入れるときや、電源が切れた後の除湿ユニットの最初の操作は、必ず除湿ユニットのリモコンで行い、除湿ユニットとリモコンの号機番号を正しくセットしてください。

誤動作する理由は次のとおりです。

(三菱電機製以外のルームエアコンとは、お互いに誤動作しません)

- リモコンにはすべて号機番号があります。通常、エアコンのリモコンは1号機で、除湿ユニットのリモコンは4号機です。
- エアコンや除湿ユニットは、電源が投入された後、最初に受信したリモコンの号機番号と同じ号機番号になり、それ以後は同じ号機番号のリモコンの信号だけ受信します。
例) 除湿ユニットが最初にエアコンのリモコン(1号機)の信号を受信してしまうと、その後はエアコンのリモコン信号により予期しない動作をする場合があります。
- 次のような場合は電源がしゃ断され、エアコンや除湿ユニットの号機番号がリセット(消去)されます。
 - ①停電のとき
 - ②ブレーカーを切ったとき
 - ③エアコンの電源プラグを抜いたとき(エアコンの電源がしゃ断されます)
 - ④SC-SVのスイッチを切ったとき、またはSC-SVが停止モードになったとき(除湿ユニットの電源がしゃ断されます)
- 除湿ユニットのリモコン受信装置と三菱電機製ルームエアコンがお互いにリモコン信号が届く範囲にあると、たとえば停電で号機番号がリセットされると、エアコンと除湿ユニットが停電復帰後に最初に使用したリモコンの号機番号に設定され、それぞれが正しい号機番号にならない可能性があります。


仕様



除湿ユニット

仕様	形名	SV-MBZ18RA-KN	
電源		単相・100V・50/60HZ	
消費電力〈W〉		560	
室外側運転音 (音響パワーレベル)	〈dB〉	53	
質量〈kg〉		室内ユニット 17	室外ユニット 30
外形寸法〈mm〉		室内ユニット	230×770×450
		室外ユニット	550×800×285

- この仕様値は、50Hz・60Hz共通です。
- リモコンで「停止」したときの室内ユニット消費電力は約5ワットです。
- 運転音はJIS C 9612:2013による音響パワーレベル (sound power level) です。
 - 音響パワーレベルとは音源が発する音響エネルギーの大きさを基にした量です。
 - 音響パワーレベルは音源との距離や方向などの位置関係によらず、運転音の大きさにより一義的に決まりますので、製品から発生する運転音がより正確に表示されます。

フロン「見える化」について

	1)この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。 2)この製品には最大で二酸化炭素2,822kgに相当するフロン類が使用されています。
---	--

<h3>愛情点検</h3> 	<ul style="list-style-type: none"> ●長年ご使用の除湿ユニットの点検を！ ●除湿ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●焦げ臭いニオイがする。 ●ブレーカーが頻繁に落ちる。 ●架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取付けがゆるんでいる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●運転音が異常に大きい。 ●その他の異常や故障がある。
	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> ご使用中 止 </div>
	故障や事故防止のため、運転を停止し、ブレーカーを切って必ずご販売窓口に点検・修理をご相談ください。

工事店	電話
据付日	年 月 日

株式会社カネカソーラーサーキットのお家 (カネカグループ)

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)

TEL(03)5574-8139